

第 6 回 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構分科会 議事要旨

- 1 . 日時：平成 2 9 年 7 月 7 日（水） 1 3 : 0 0 - 1 8 : 3 0
- 2 . 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室
- 3 . 出席者
 - (1) 委員
青木委員、片岡委員、白坂委員、関委員、田辺委員、山川委員
 - (2) 事務局（内閣府宇宙開発戦略推進事務局）
高田事務局長、高倉参事官、行松参事官
 - (3) 説明者等（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）
遠藤副理事長、山本理事、坪井理事、布野理事、浜崎理事、常田理事、今井理事、館技術参与
- 4 . 議事要旨
 - (1) 分科会長及び分科会長代理の選出について
委員の互選により、山川委員が分科会長に選任された。山川分科会長が分科会長代理として田辺委員を指名した。
 - (2) 宇宙航空研究開発機構の平成 28 年度及び第 3 期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価等について
事務局から、資料 1 に基づき、平成 28 年度及び第 3 期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価等の進め方について説明が行われた。
 - (3) 宇宙航空研究開発機構からのヒアリング
資料 2、3 に基づき、評価項目ごとに J A X A からヒアリングを行った。当該説明を踏まえ、委員から以下のような意見等があった。

各年度の評価が B にも関わらず第 3 期中期目標期間の見込み評価が A となる部分については、その理由が納得のいくものとなるような説明を付すことが望ましい。

宇宙科学・探査の評価について、すべての目標を達成して B が標準となることからすると、C 評価も含まれるこれまでの年度評価の結果の履歴も踏まえ、A 評価ではなく、B 評価が妥当ではないか。

宇宙安全保障の分野では、今後、宇宙システムの機能保障が大きな課題となるため、この分野でも大きな役割を果たしていただきたい。

不利な射場の位置および老朽化にもかかわらず、ロケット打ち上げの高い成功率、打ち上げ間隔の短縮化、打ち上げ延期リスクの低減により、海外衛星打ち上げを受注したことは評価に値する。

JAXA の人材が国連その他の国際機関の要職に就任するなど、宇宙活動に日本が大きな役割を果たしていることが国際的に認知されたことは素晴らしい。

本日の説明を踏まえ、各委員は、JAXA の平成 28 年度及び第 3 期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績評価等に対して追加意見があれば提出し、本日の意見や追加意見を踏まえて、次回の分科会において意見の取りまとめを行うこととなった。

以 上